



新光商事 株式会社
Shinko Shoji Co., Ltd.

2015年3月期第2四半期決算説明会

- 第2四半期決算の概要
- 今後の施策
- 通期の見通し

2014年11月6日
代表取締役社長 小川 達哉

このプレゼンテーション資料で述べられている当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素の主なものは、以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向
- ・エレクトロニクス産業の業界動向・技術トレンド等の変化
- ・当社の主要製品市場における需給の急激な変動
- ・ドル等外国通貨の対円為替相場の大幅な変動

第2四半期決算短信の概要

前年同期比で増収増益を達成。

- **車載関連は好調に推移し、前年比で売上大幅増。**
- **日本TIの商権譲渡に伴う売上減少分は、他商材の拡販によりカバー。**
- **娯楽機器関連は、部材のリユースが加速するも、人気機種向けの販売好調により、前年比で売上増。**

第2四半期決算の概要

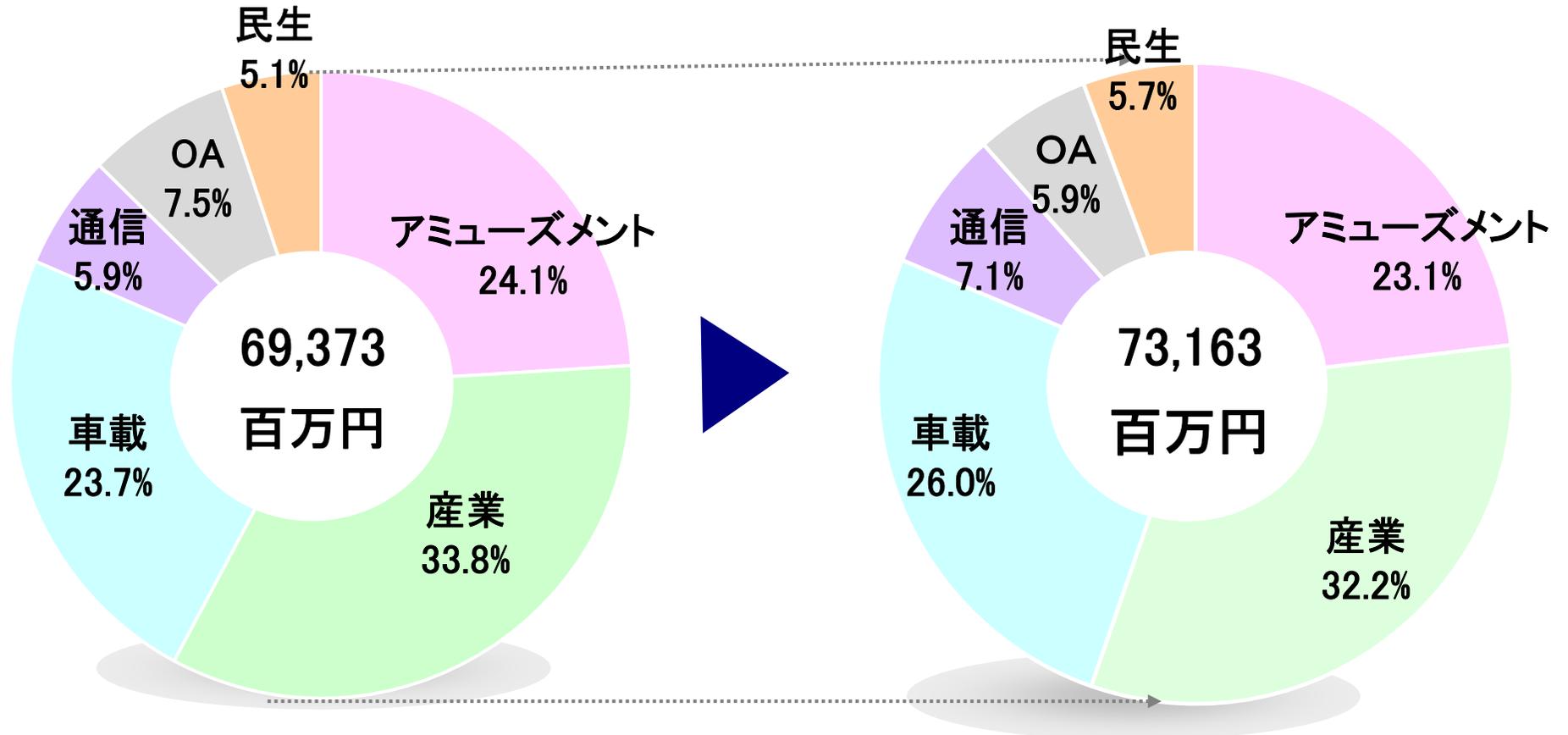
(百万円)

	2014年3月期 第2四半期 実績	2015年3月期 第2四半期 期初予想	2015年3月期 第2四半期 実績	増減額 (前年 同期比)	増減額 (期初 予想比)
売上高	69,373	70,000	73,163	3,790	3,163
売上総利益	5,776	—	6,264	488	—
販売管理費	3,739	—	3,769	30	—
営業利益	2,037	2,000	2,494	457	494
経常利益	2,017	2,000	2,387	370	387
第2四半期純利益	1,257	1,100	1,470	213	370
1株当たり 四半期純利益	52円99銭	46円37銭	62円00銭	9円01銭	15円63銭

分野別売上構成

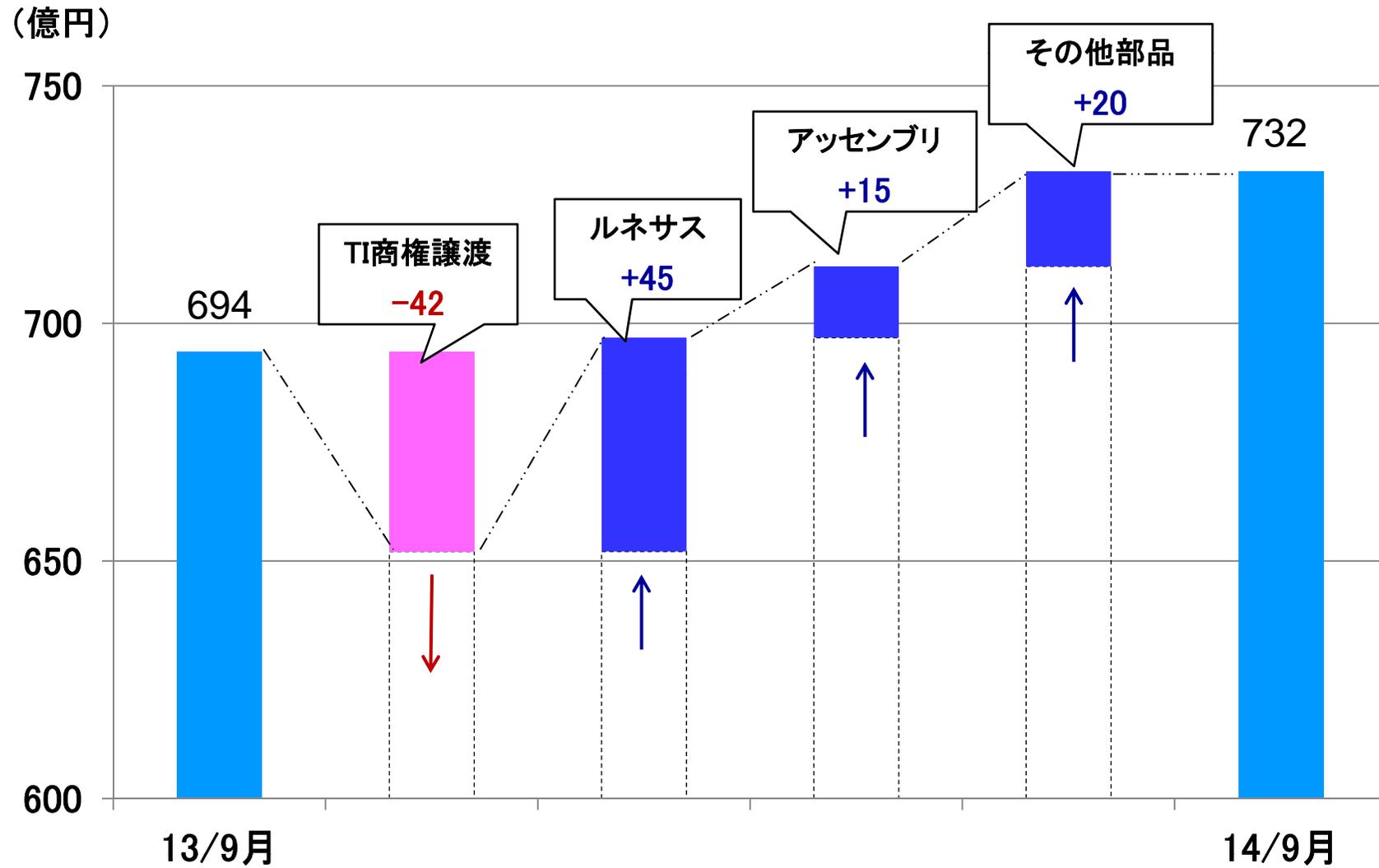
【2014年3月期第2四半期】

【2015年3月期第2四半期】

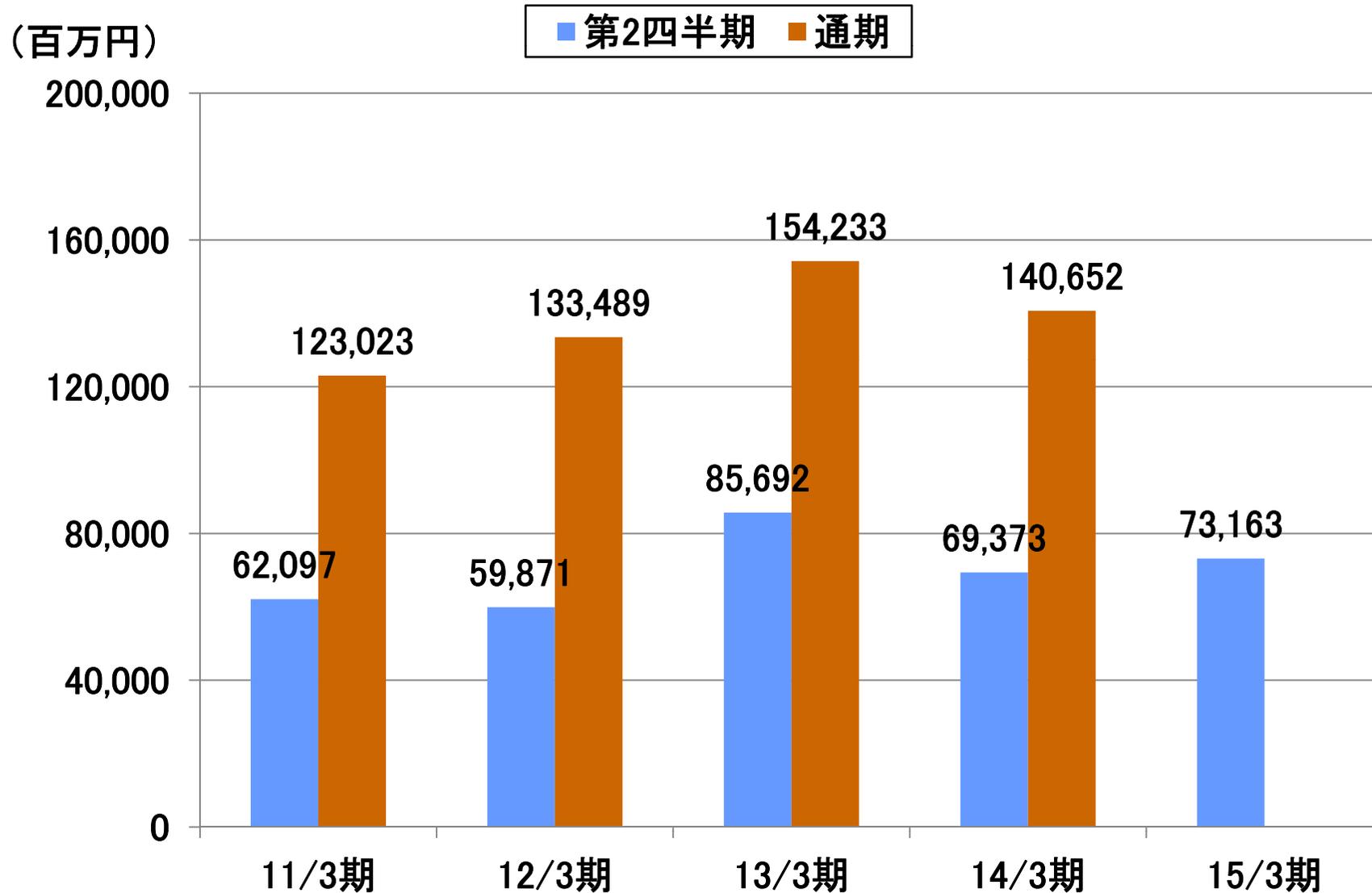


(注) 決算短信のセグメントは電子部品事業、アッセンブリ事業、
その他事業の三種類(後述)。

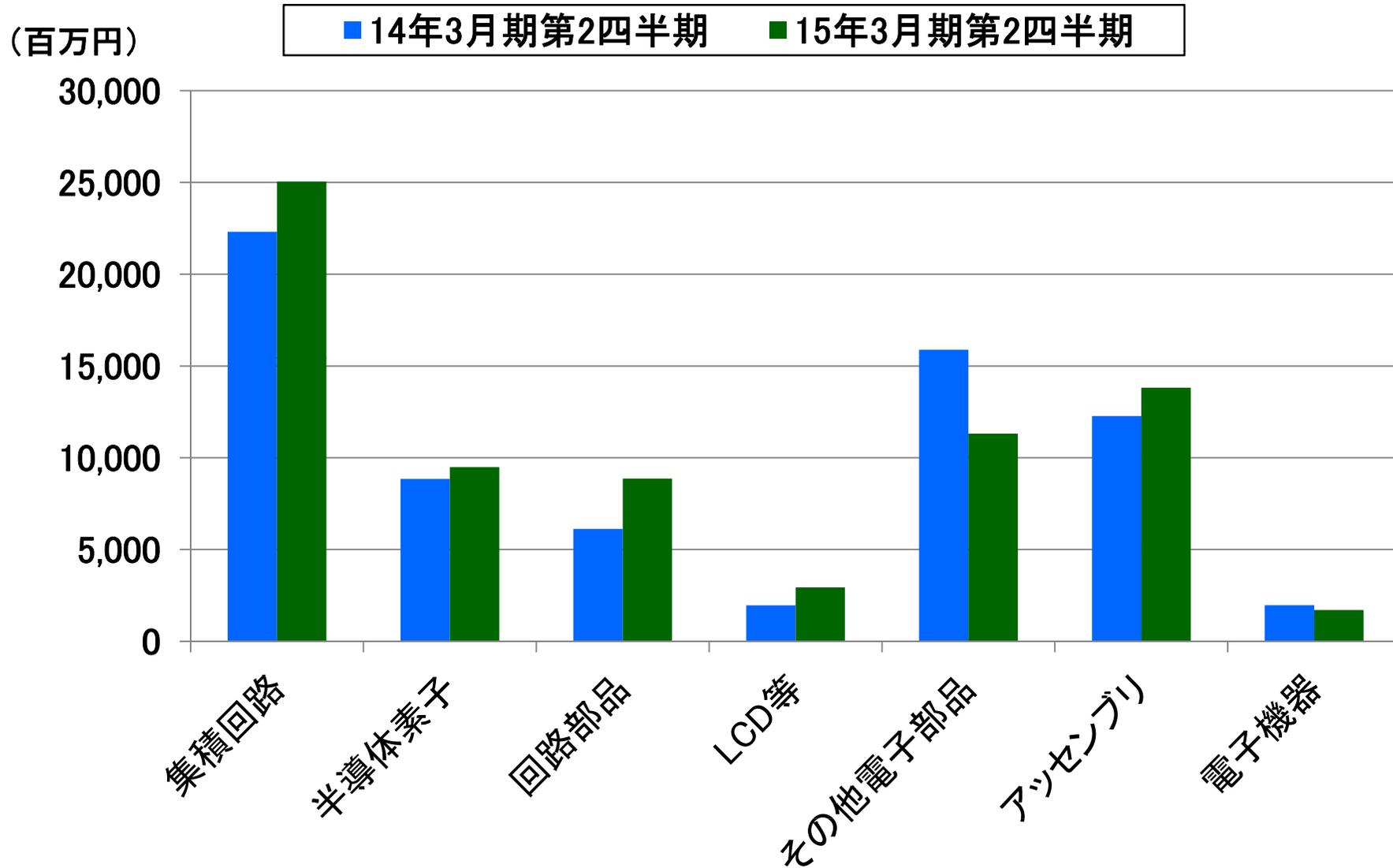
前年同期比 売上増減要因分析



売上高推移

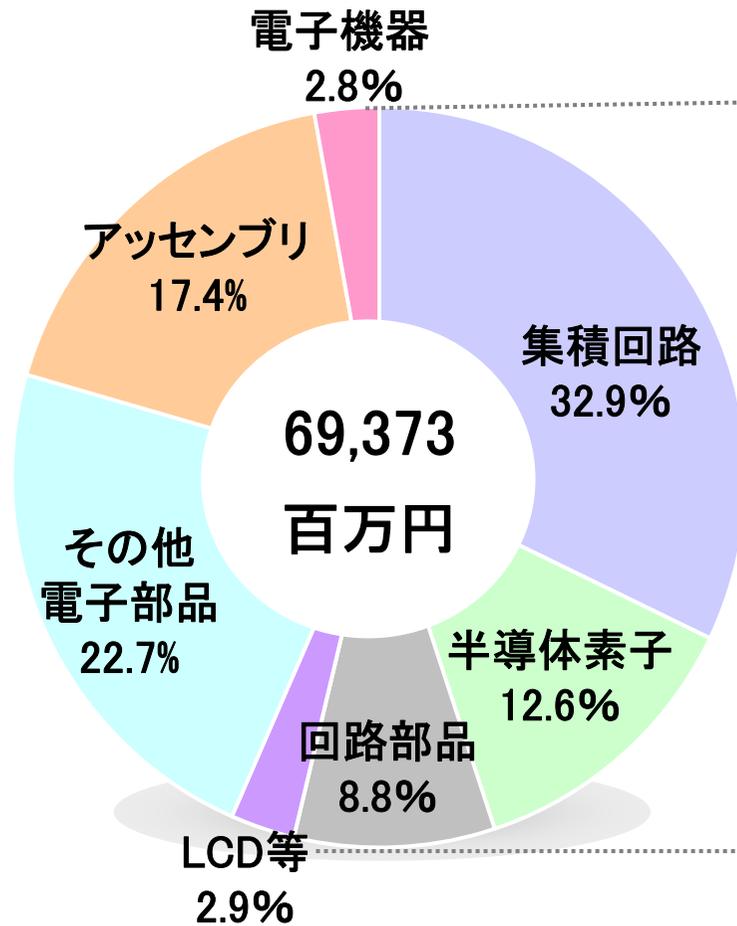


品種別売上高 前年同期比較

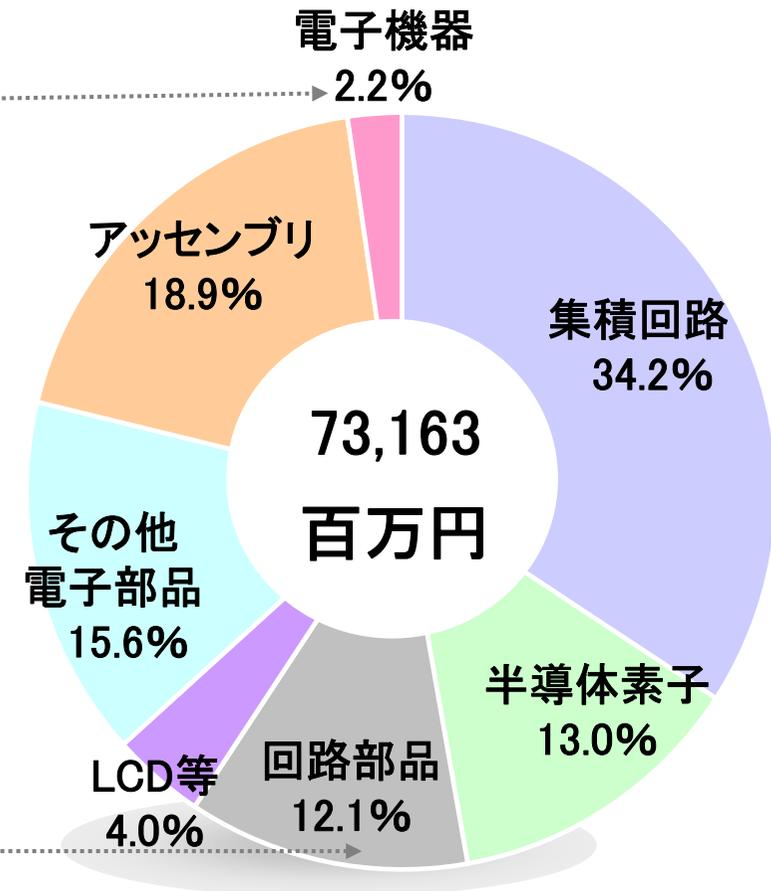


品種別売上高構成

【2014年3月期第2四半期】

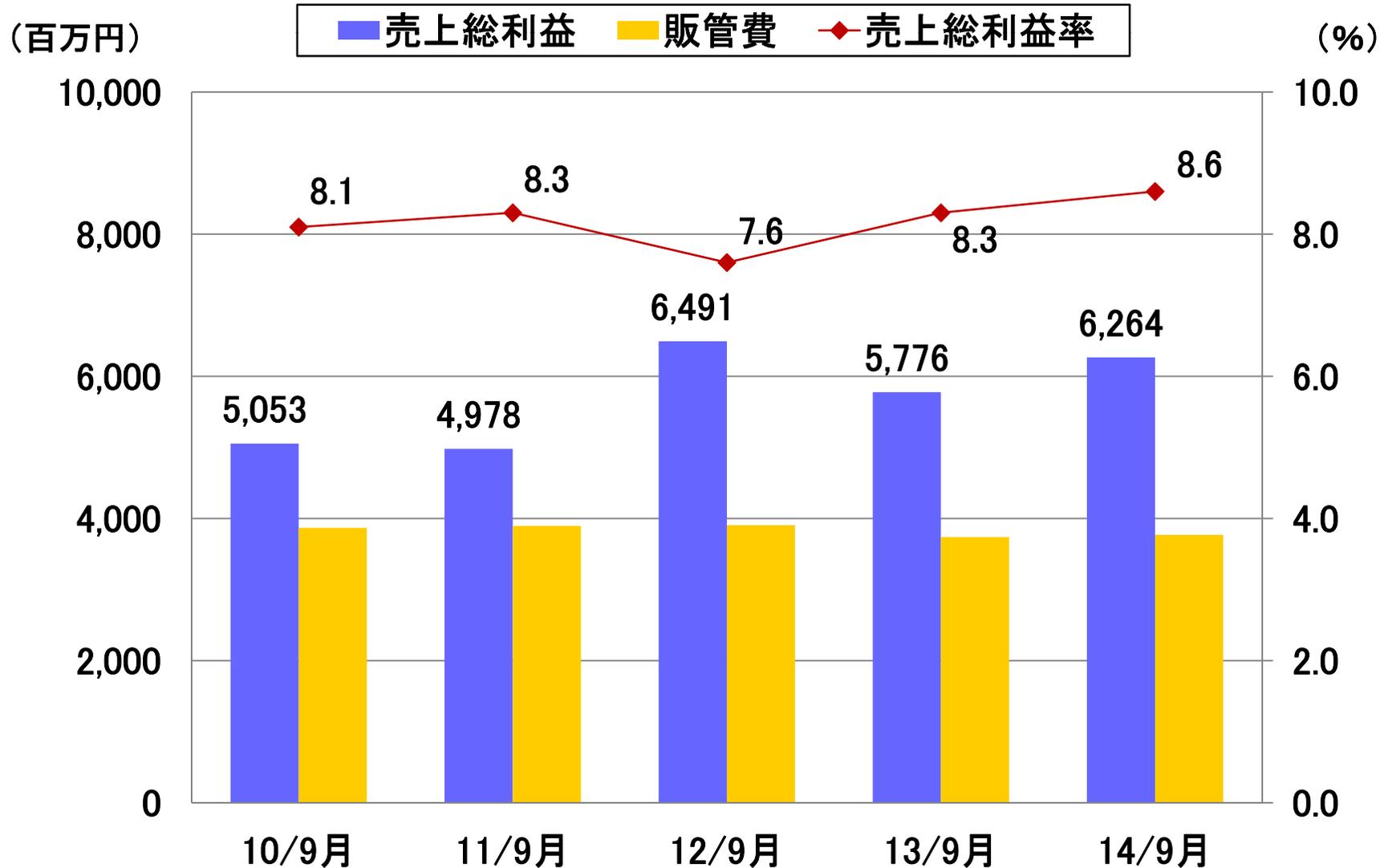


【2015年3月期第2四半期】



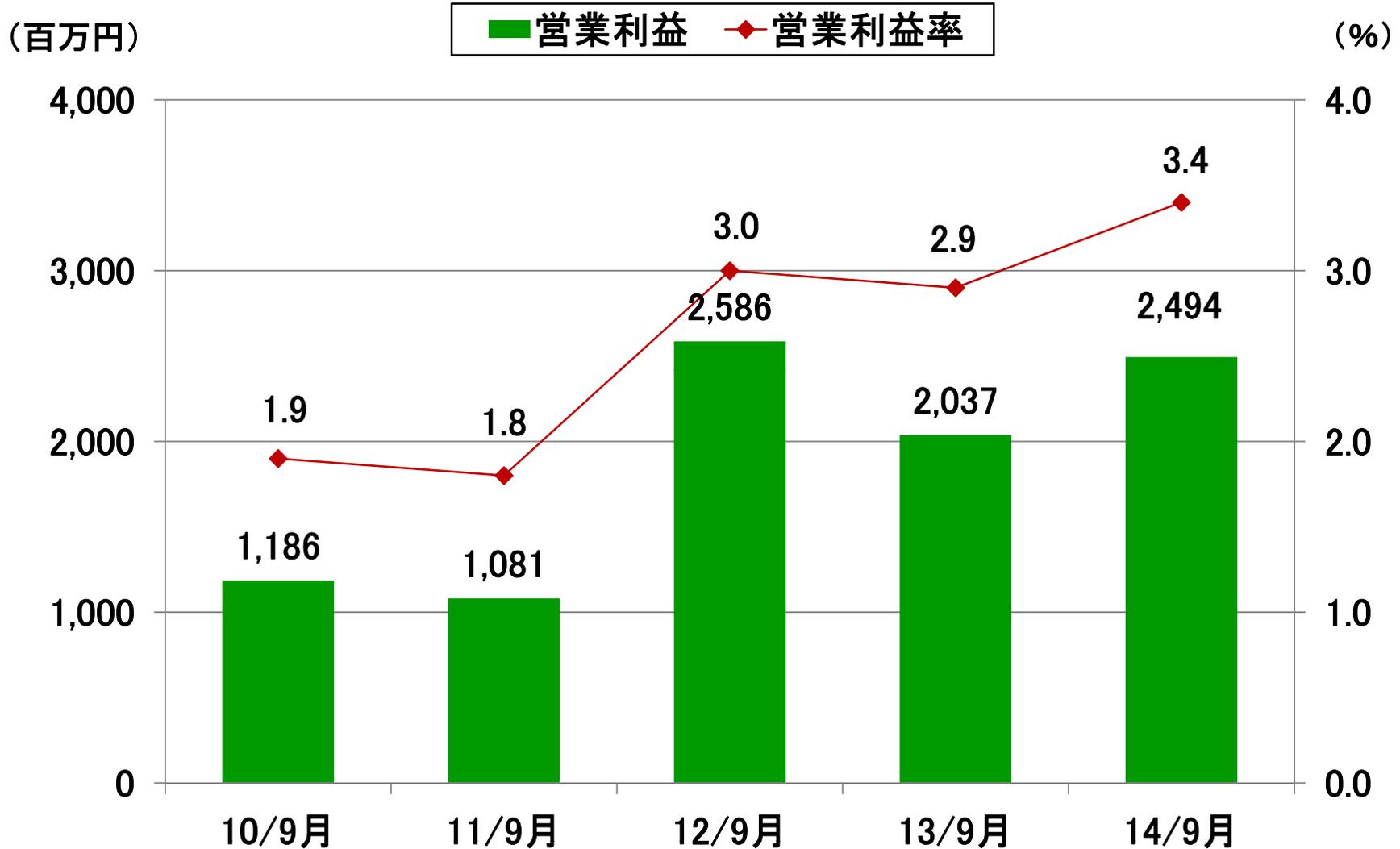
売上総利益/売上総利益率/販管費 推移

【第2四半期実績】



営業利益/営業利益率 推移

【第2四半期実績】



営業外損益・特別損益等の主な増減分析

(百万円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	増減額
営業利益	2,037	2,494	457
営業外損益	△20	△107	△87
経常利益	2,017	2,387	370
特別利益	16	0	△16
特別損失	10	51	41
内、投資有価証券評価損	0	44	44
製品補填損失	6	0	△6
税金等調整前四半期純利益	2,024	2,336	312
法人税等	699	791	91
少数株主利益	17	10	△7
四半期純利益	1,257	1,470	213

要約貸借対照表 1

(百万円)

	2014年3月期 期末	2015年3月期 第2四半期	増減額
資産合計	80,086	84,797	4,711
流動資産	73,652	77,422	3,770
内、現金及び預金	15,394	23,781	8,387
受取手形及び売掛金	30,803	31,000	196
有価証券	6,999	0	△6,999
たな卸資産	13,237	14,158	919
未収入金	6,520	7,939	1,419
固定資産	6,433	7,374	941
内、投資有価証券	2,866	3,425	558

要約貸借対照表2

(百万円)

	2014年3月期 期末	2015年3月期 第2四半期	増減額
負債合計	26,519	29,417	2,897
流動負債	22,308	24,919	2,611
内、支払手形及び買掛金	16,576	20,916	4,367
短期借入金	1,317	1,511	194
固定負債	4,211	4,498	286
長期借入金	2,500	2,500	0
純資産合計	53,566	55,380	1,813
内、資本金及び資本剰余金	19,102	19,102	0
利益剰余金	34,393	35,290	896
自己資本比率	66.3%	64.7%	—

キャッシュ・フロー

(百万円)

	2014年3月期 第2四半期	2015年3月期 第2四半期	対前年比
現金及び現金同等物の期首残高	22,059	21,931	△128
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,136	2,070	4,207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390	△727	△337
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14	△531	△516
現金及び現金同等物の期末残高	19,774	23,015	3,241



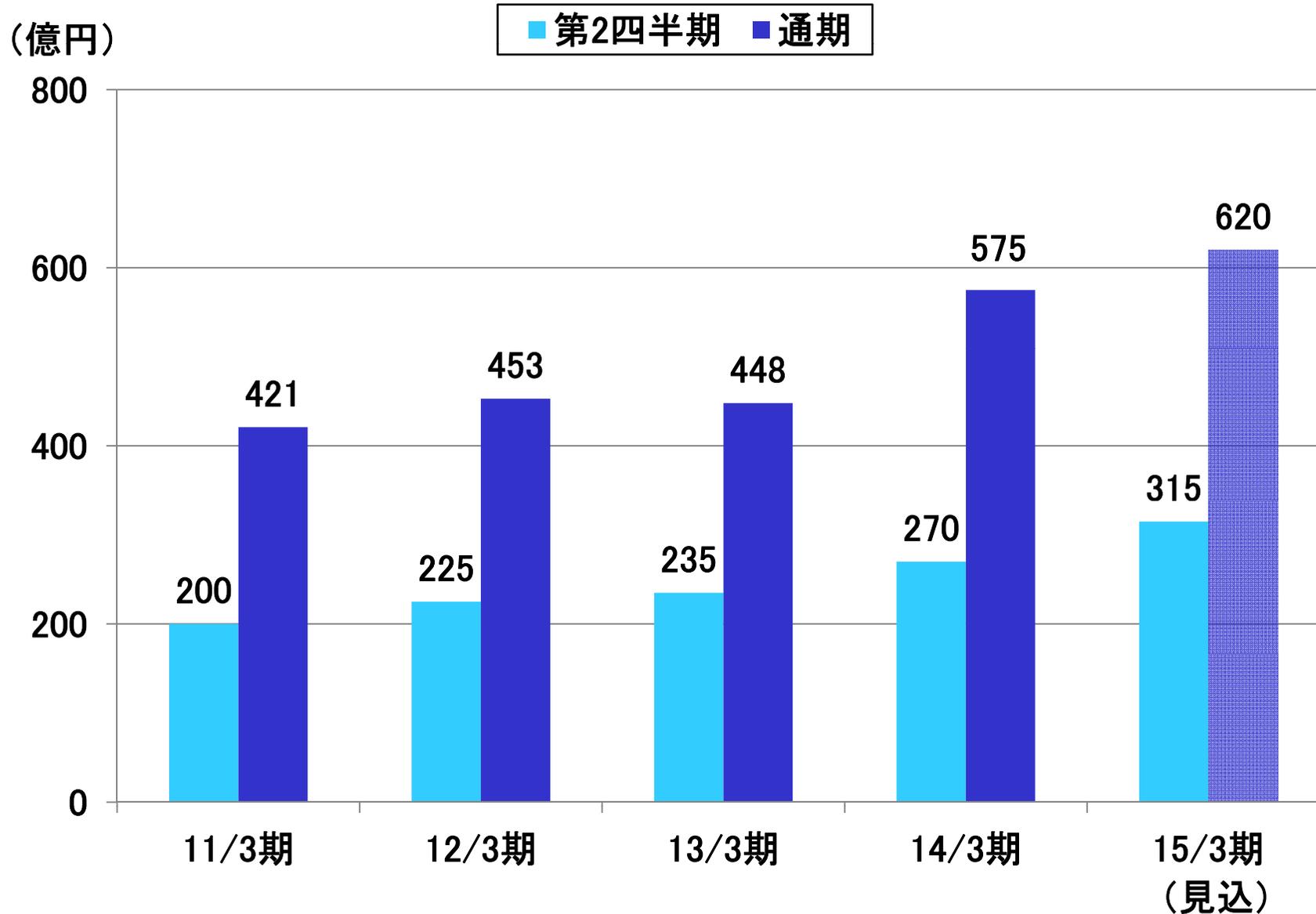
今後の施策

今後の施策

- 1 ルネサス・エレクトロニクスとのビジネスについて
- 2 新規仕入先の開拓について
- 3 海外ビジネスの状況について
- 4 車載系・産業系ビジネスへの取組みについて
- 5 娯楽機器ビジネスの現状と見通し

1.ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて①

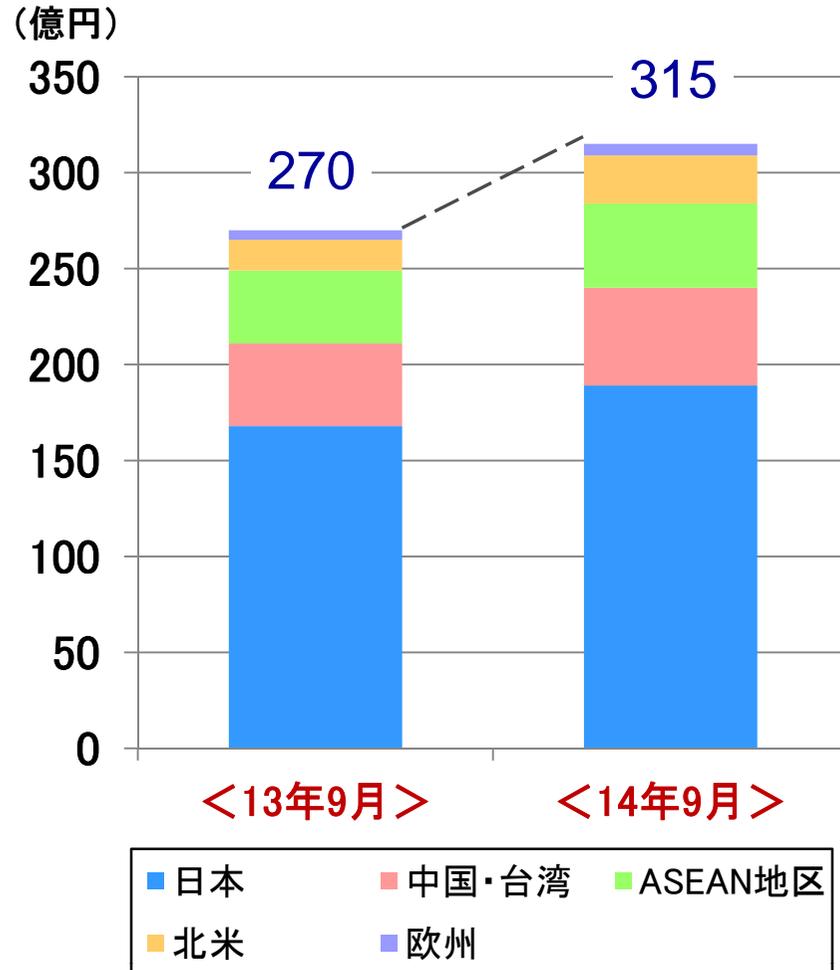
【ルネサス製品売上推移】



1.ルネサスエレクトロニクスとのビジネスについて②

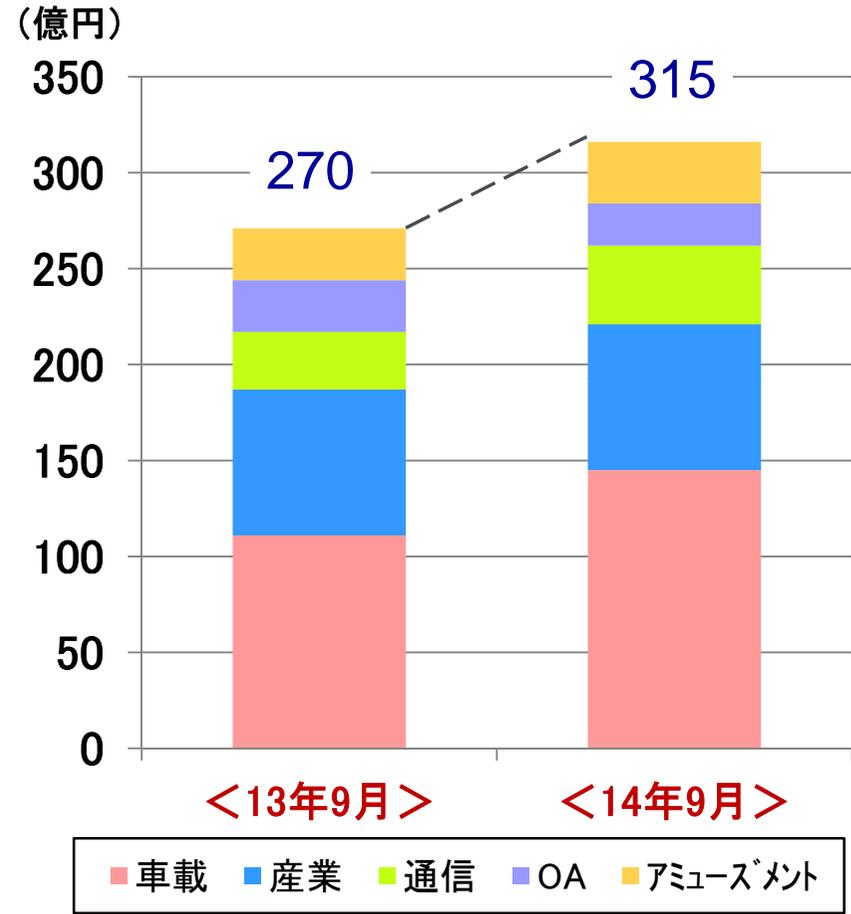
【第2四半期売上 前年同期比較】

①売上地域別



地域別シェアに大きな変動は無く、
全地域で売上増加。

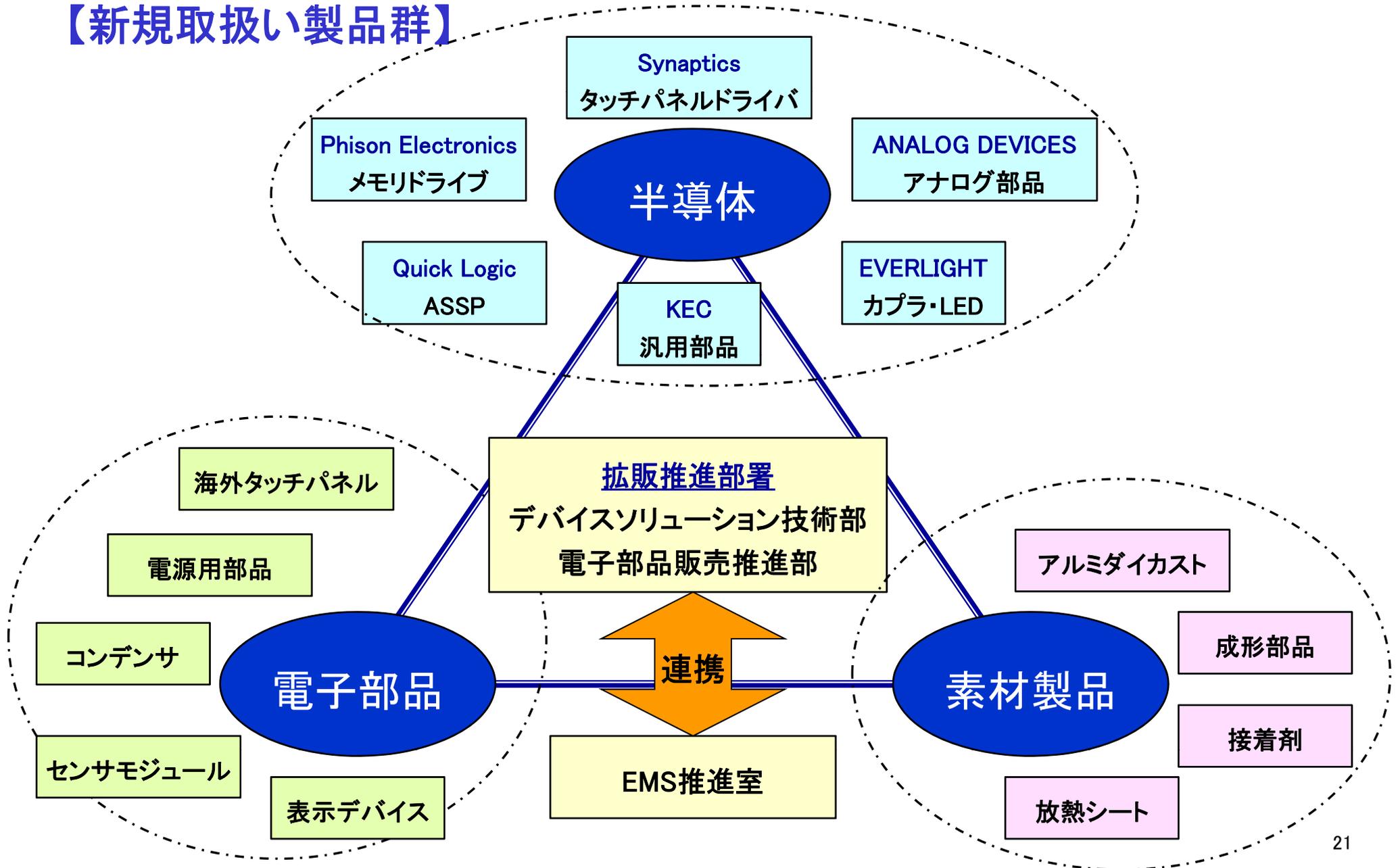
②売上分野別



車載、通信分野にて、新規商談の
獲得により金額・シェアが増加。
 車載：111億円 ⇒ 145億円
 通信：30億円 ⇒ 41億円

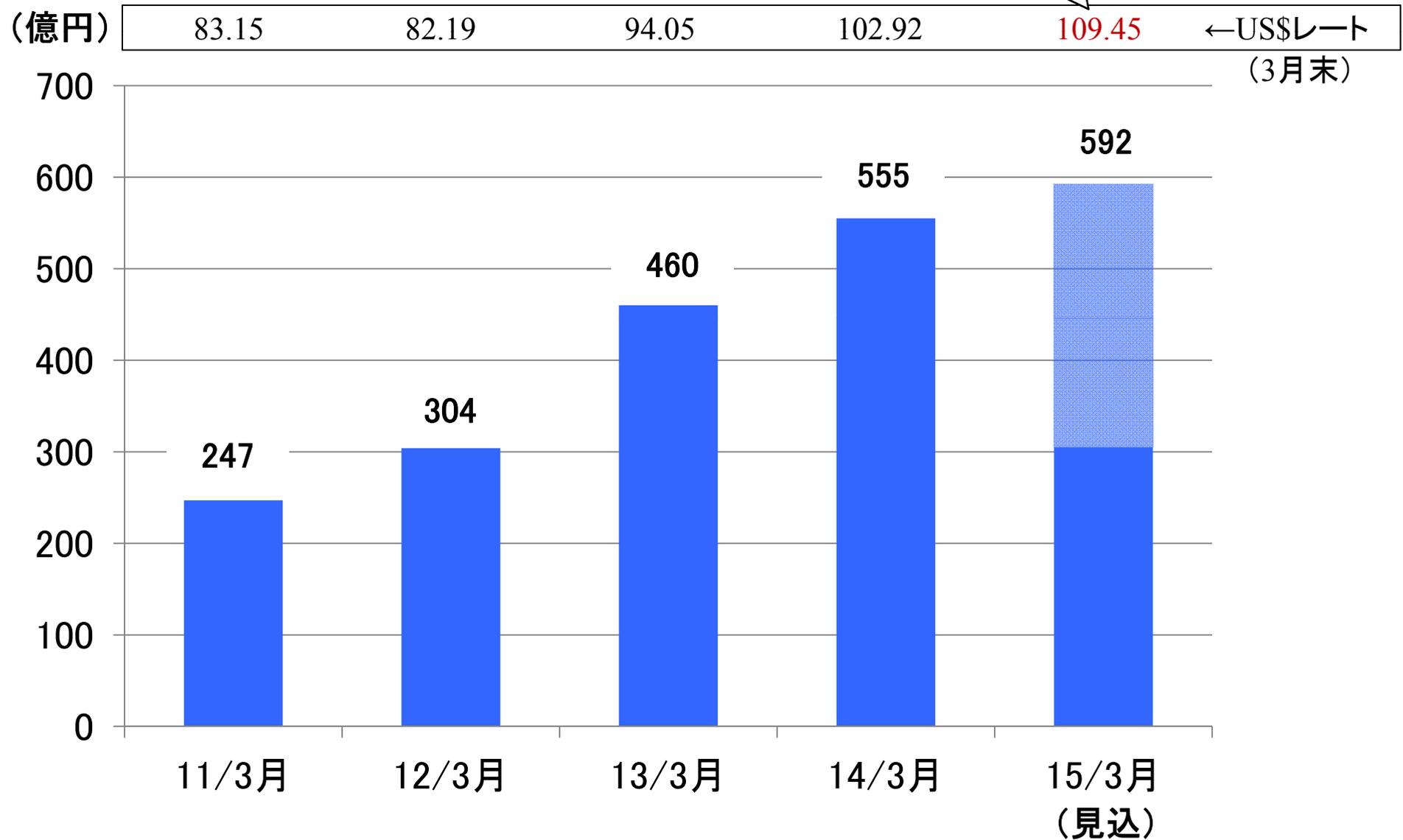
2.新規仕入先の開拓について

【新規取扱い製品群】



3.海外ビジネスの状況について①

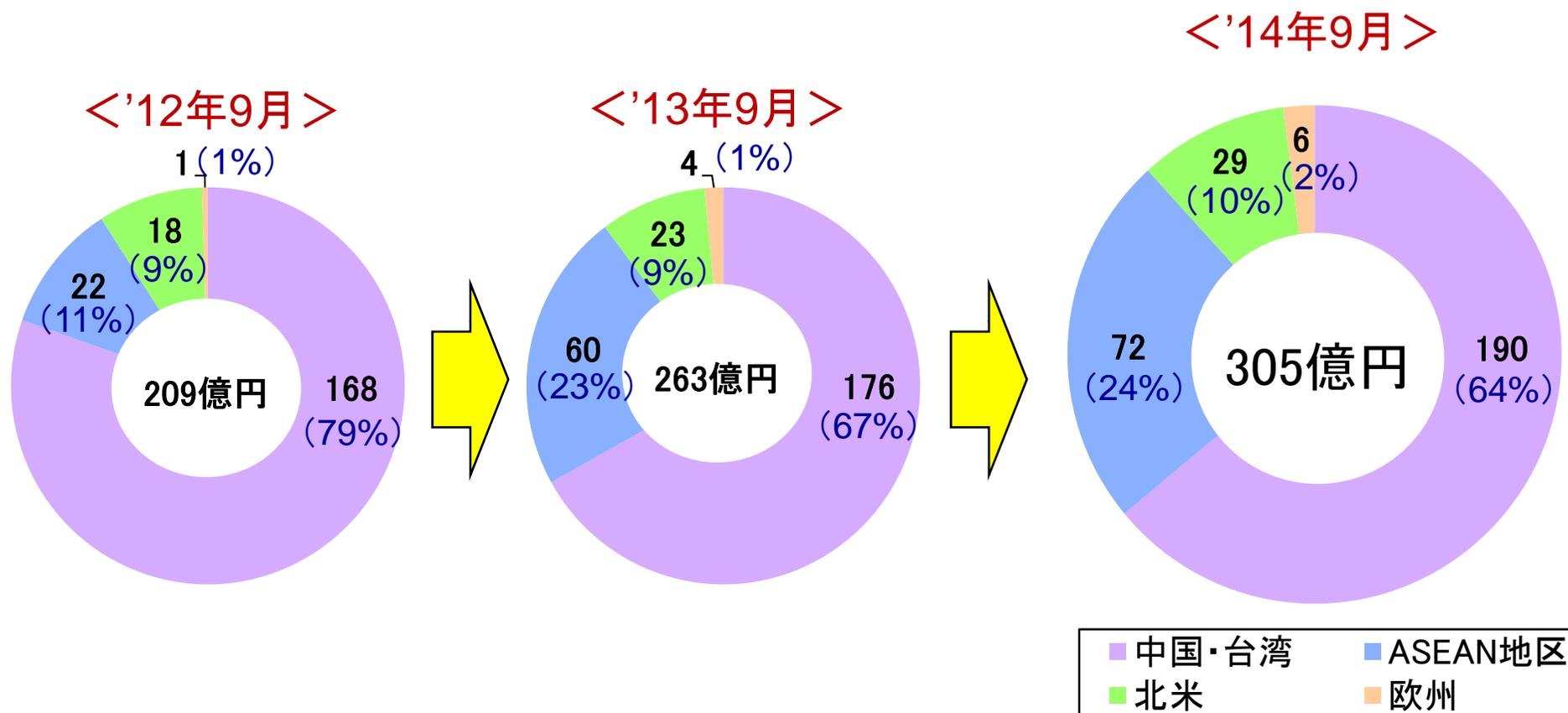
【海外現地法人 売上推移】



3.海外ビジネスの状況について②

【第2四半期 地域別 売上推移】

(単位:億円)



◆顧客の生産海外移管加速に伴い、売上は二年間で約1.5倍に。

ASEAN、北米地区における車載顧客向け売上が増加。

・ASEAN地区: 22億⇒60億⇒72億円 ・北米地区: 18億⇒23億⇒29億円

3.海外ビジネスの状況について③

【インドにおける取組み】

ルネサス主催

自動車分野向け展示会へ協賛出展
(5/13 デリー、5/15 プネ)

インド車載ビジネスの発掘を促進。



当社チームと出展品



当社プレゼンの様子

Chennai Office (2011年7月～)

セールスエンジニア 一名常駐



- ・技術サポート
- ・新規顧客開拓
など対応
(シンガポール事務所が業務支援)

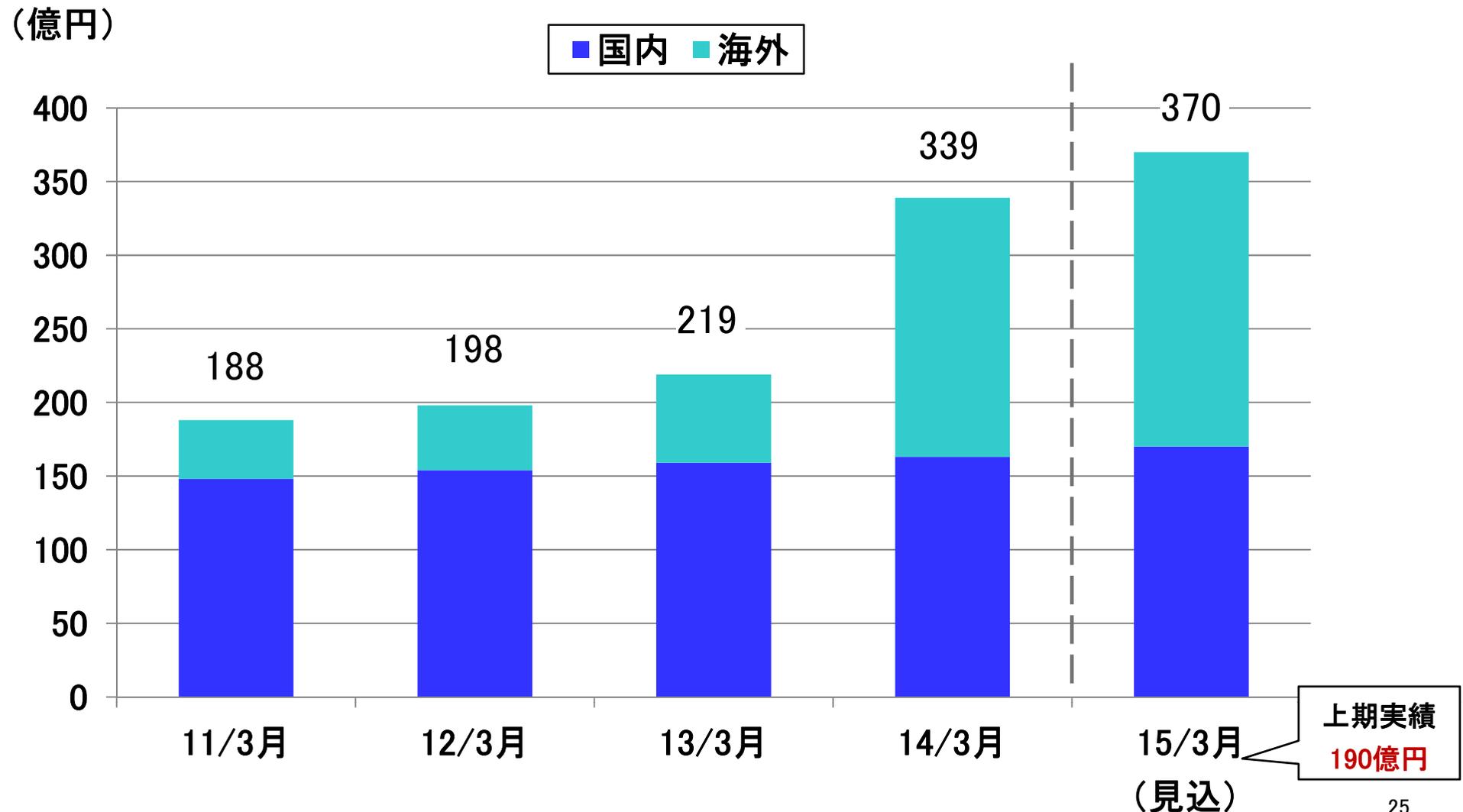
プネへ出店検討中



4.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて①

【車載分野 売上推移】

16年3月期目標：400億円



4.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて②

【車載関連ビジネス 取組み内容】

標準化活動への参画

※推進部署：自動車ソリューション技術部、EMS推進室

- ・JasPar 会合への参画(準会員)  } 顧客サポートへ展開
- ・AUTOSARの動向調査  }
- ・機能安全(ISO26262)：診断ソフト開発、実装支援など
- ・モデルベース開発支援：MILS、HILS(※)検証への対応など

※開発中の車載ソフト用シュミレーション手法の一つ。

開発から生産までトータル支援

- ・開発支援：システム提案、リファレンスデザインによる開発期間短縮
- ・生産支援：EMSサービス提供、品質/納期管理



BLDCモータ/インバータ
開発キット(当社開発)



中国/深セン EMS拠点
(自社工場)

国内関係会社



企画・販売・マーケティング
EMS推進(生産支援)

新光商事
LSIデザインセンター

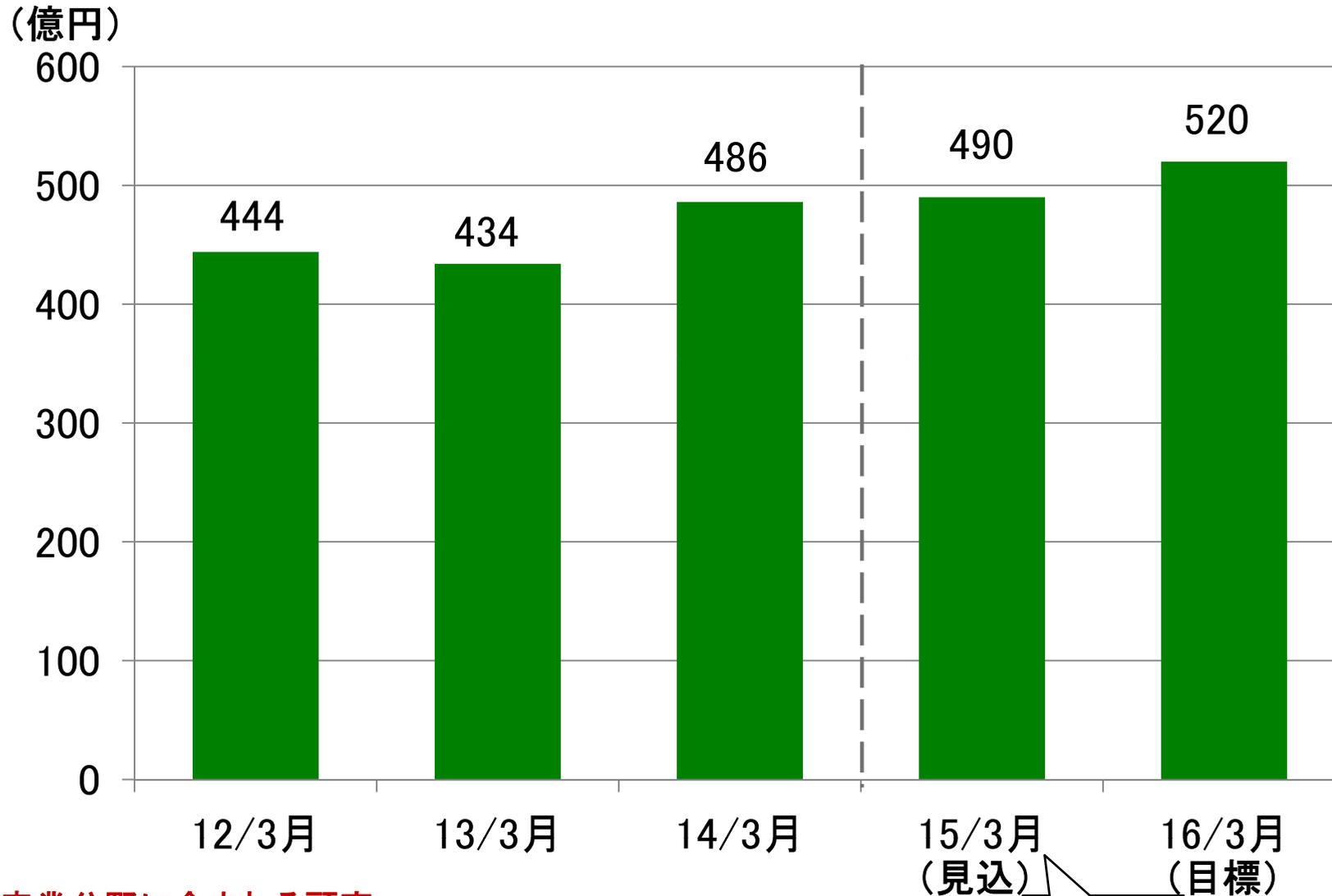
ソフト開発、評価受託

Novalux Japan

装置開発

4.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて③

【産業分野 売上推移】



※産業分野に含まれる顧客
 工作機械、半導体製造装置、医療機器、スマートメーター等

上期実績
 236億円

4.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて④

【産業関連ビジネス 取組み内容1.】

モータビジネスの推進

※推進部署: デバイスソリューション技術部、EMS推進室

- ・当社オリジナルのBLDCモータ開発システムを活用した提案活動
- ・日本/中国の関連市場へ拡販(中国は上海が管理運営)
ターゲット分野: 医療、セキュリティー、電動工具、ヘルスケア等



(左)BLDCモータ/インバータ
開発キット(当社開発)
(右)新光商事LSIデザイン
センターのモータ製品評価設備



計測器室



防音室

イーサ・ソリューションへの取組み

- ・Ether CAT協会入会: 市場動向把握、顧客への情報提供
- ・ルネサス製専用マイコン(R-IN32シリーズ)を中心とした拡販。評価キットによる開発支援。

<ターゲット顧客>

- ・制御(Master)側: FA機器メーカー(日本、中国)
- ・被制御(Slave)側: 計測器、インバータ、サーボメーカー等



4.車載・産業関連ビジネスへの取組みについて⑤

【産業関連ビジネス 取組み内容2.】

ヘルスケア分野への取組み

※推進部署: デバイスソリューション技術部、EMS推進室

- ・従来の電子部品に加え、センサー、表示デバイス、無線、カメラ等の新規商材を拡販。
- ・顧客同士を繋ぎ合わせるビジネスの推進。
(例:ヘルスケア顧客+車載顧客)

<ターゲット顧客>

- ・家庭用健康器具メーカー
体重計、血圧計、体組成計など
- ・居住設備メーカー
トイレ、ユニットバス向け設備など
- ・ウェアブル端末メーカー

協業による顧客の新規事業創出を実現。

急速充電器分野への取組み

- ・電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド車(PHV)用急速充電器のEMSビジネスを受注獲得。
- ・基幹部品の調達(電子部品、電源、ファン、センサ等)から国内協力工場でのアッセンブリ対応。

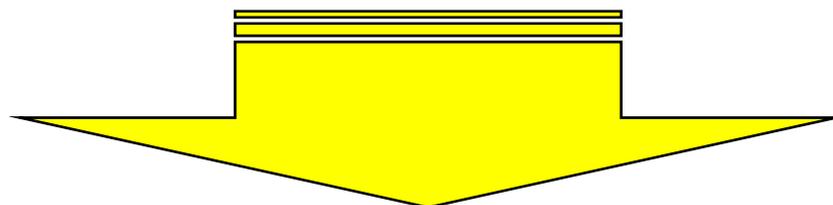
当社EMS事業の柱の一つとして推進する。



5. 娯楽機器事業の現状と見通し①

【業界を取り巻く環境】

- ・パチンコ/パチスロの合計設置台数は前年比横這い。
- ・パチスロの設置シェアが増加傾向。全体の1/3強に。
- ・新規店舗の大型化傾向が定着。小型店淘汰により店舗数は減少。

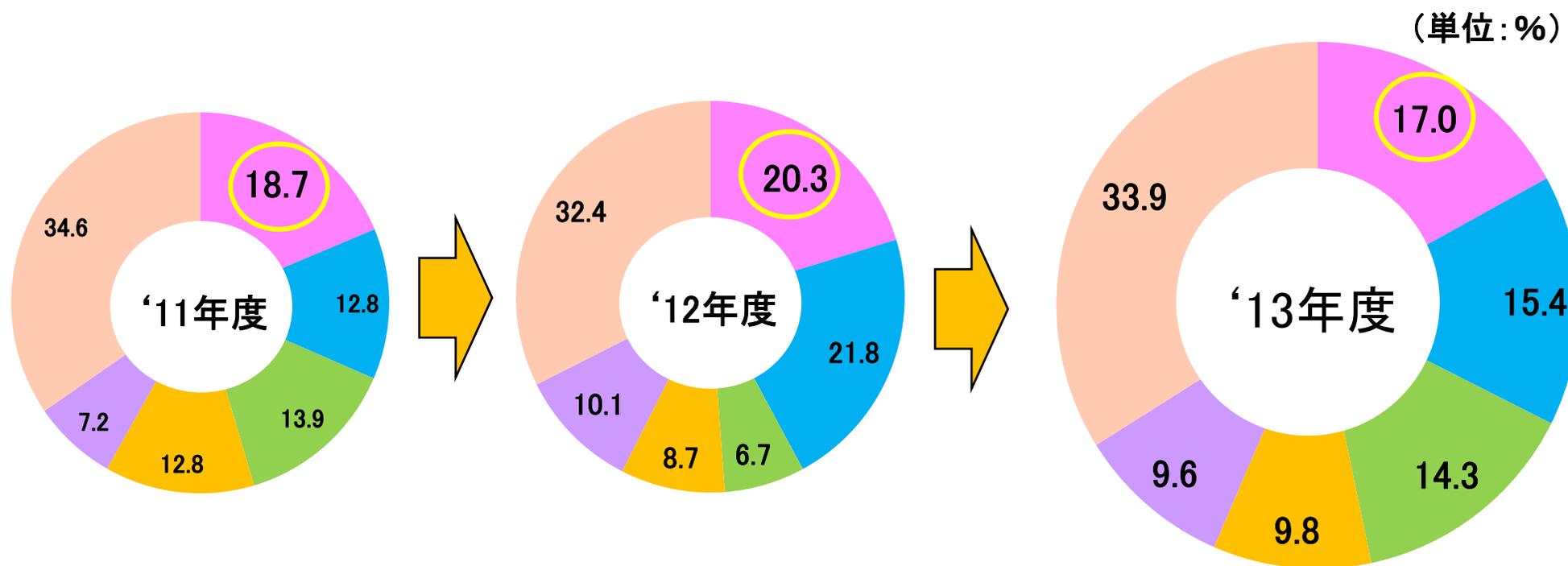


◆遊技機器メーカーの対応

- ・コンテンツクリエイターとしての機能を強化。
- ・機材の原価低減に向けた取組みを強化。
- ・リユース/リサイクルの更なる加速。

5. 娯楽機器事業の現状と見通し②

【パチンコ販売台数シェア】



※各社決算期に基づき算出

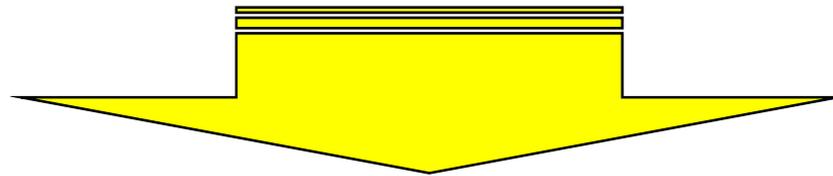
1月~12月で区切った出荷台数とは異なります

出典: 矢野経済研究所

5. 娯楽機器事業の現状と見通し③

【アミューズメント営業部の取組み】

- ① 部材のリユース作業ビジネスへの参入
⇒業界のリユース増加傾向に対応
- ② ホールコンピュータ向けデバイス/システム製品拡販の推進
- ③ 国内関係会社との連携による新規商談発掘



◆通期の見通し

- ・ 上期は人気機種向けの販売好調により、当初見込を上回る。
- ・ 下期はリユースの更なる増加により、上期比で売上減の見込。
- ・ 通期では前年比で売上微減となる見込。



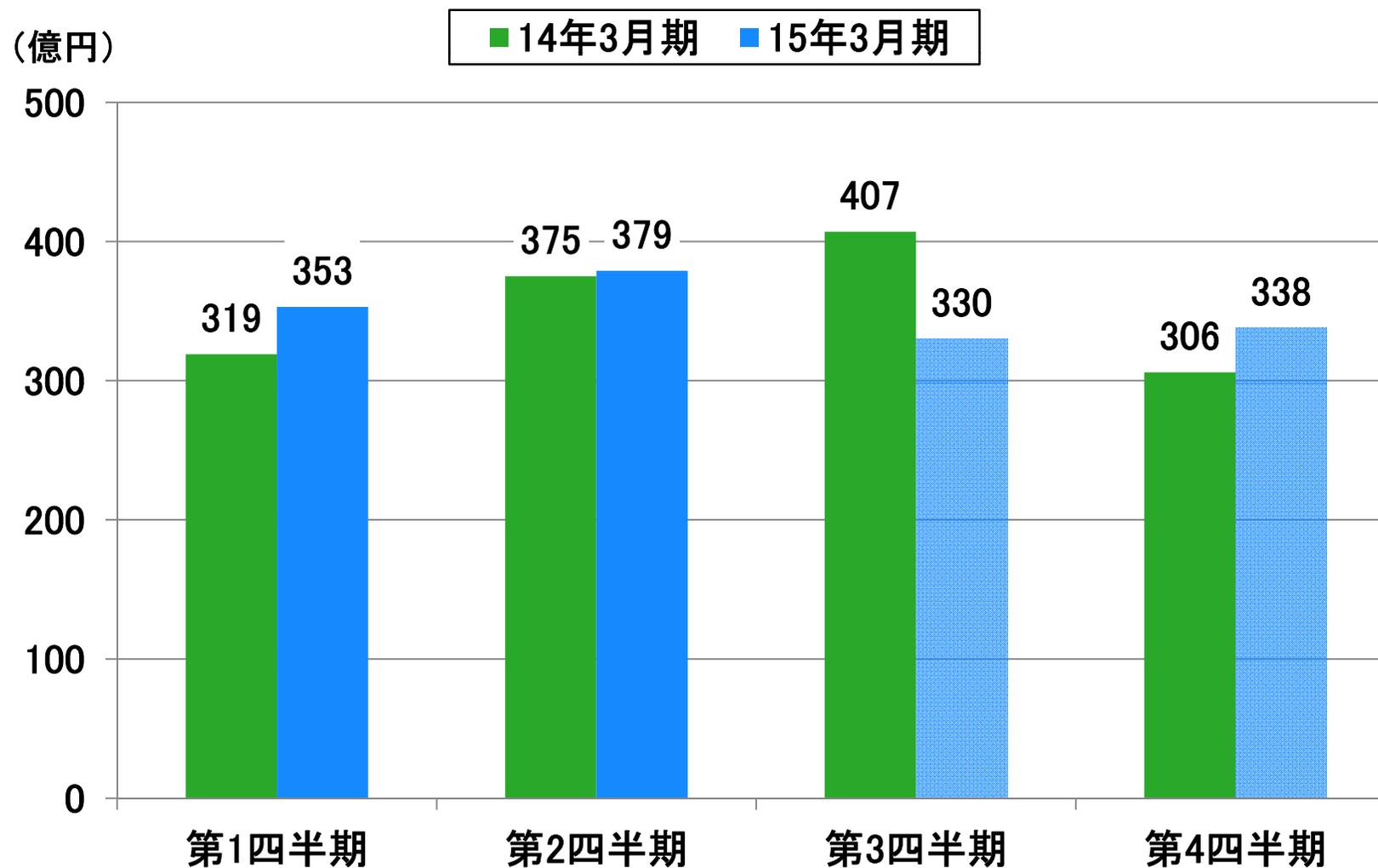
2015年3月期の見通し

通期業績見通し

(百万円)

	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 第2四半期 実績	2015年3月 下期見通し	2015年3月期 通期見通し
売上高	140,652	73,163	66,837	140,000
営業利益	4,075	2,494	1,506	4,000
経常利益	4,088	2,387	1,613	4,000
当期純利益	2,718	1,470	830	2,300

通期業績見通し(四半期別売上高)



株主還元について

● 1株当たり配当金

	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想
第2四半期	15円00銭	15円00銭
期末	25円00銭	15円00銭
年間	40円00銭	30円00銭

※2014年3月期の期末配当は、TI事業譲渡により特別利益が計上された事に伴い、
期末に特別配当10円を増配。

新光商事株式会社

取締役 正木 輝

企画室 沖田 和夫

Tel: 03-6361-8062

Fax: 03-5437-8481

E-mail: t-masaki@st.shinko-sj.co.jp

okita@st.shinko-sj.co.jp

住所: 〒141-8540

東京都品川区大崎1-2-2

アートビレッジ大崎セントラルタワー13階

HP: <http://www.shinko-sj.co.jp>